

(3)「看護職がNPチームを認め支えることに誇りを持ち、双方が良変化したマネジメント実践」

高橋素子(平成立石病院副院長/看護部長)

(4)「がん専門病院における特定行為研修修了者の活用と支援」

赤星誠美(国立病院機構九州がんセンター看護部長)

6月21日(金) 14:00~16:00 F会場

8. 地域医療連携に必要な、信頼と調和による医療マネジメントとは～地域と共に質の高い地域医療介護連携をつくる～

座長：中村起也(広南病院脳神経内科/医療福祉連携士4期生)

黒岩伯周(合同会社SLL LLさねかた(地域密着型通所介護)生活相談員/医療福祉連携士6期生)

(1)基調講演「医療福祉連携に関する最近の行政の動き」

古元重和(厚生労働省老健局老人保健課課長)

(2)基調講演「病院管理者からみた医療福祉連携士制度の意義」

藤本 俊一郎(医療法人社団重仁まるがめ医療センター副理事長)

(3)「急性期病院における医療福祉連携士の重要性」
鈴島 仁(医療法人創起会くまもと森都総合病院院長)

(4)「臨床医にできること」

山口圭三(公立八女総合病院診療部長/医療福祉連携士8期生)

(5)「地域からの信頼を受け、求められる地域医療連携の看護師の役割とは」

樋口 由美子(聖マリア病院患者・家族サポートセンター地域連携推進室看護師長/医療福祉連携士10期生)

(6)「福祉職の立場から～院内外の多職種の役割を活す連携～」

岡本健志(KKR高松病院地域医療連携室事務課長/医療福祉連携士4期生)

(7)「医療福祉連携講習会について」

大久保 一郎(横浜市衛生研究所所長/医療福祉連携講習会実行委員)

6月22日(土) 8:00~10:00 B会場

9. 全ての職種間のパートナーシップの構築を目指して

座長：大西洋男(加古川市民病院機構理事長)

藤也寸志(国立病院機構九州がんセンター院長)

(1)「パーパスが紡ぐパートナーシップ～コーチングを活用した組織作り～」

江草典政(島根大学医学部附属病院リハビリテーション部療法士長)

(2)「地方慢性期病院におけるコーチング導入経験」

高橋邦康(帯広西病院院長)

(3)「全ての職種間のパートナーシップを構築することが発展的な「医師の働き方改革」「地域医療連携」に繋がっていく」

佐藤文彦(Basical Health 株式会社代表取締役)

(4)「リーダー育成のための院内コーチングの実践」

杉本圭相(近畿大学医学部小児科学教室主任教授)

(5)「会話と対話で紡ぐ組織能力」

小池 美智子(横須賀共済病院副院長兼看護部長)

6月22日(土) 8:00~10:00 C会場

10. ペイシェントハラスメントに対する対策

座長：谷口英樹(日本赤十字社長崎原爆病院院長)

河野博之(さくら病院副院長)

(1)「ペイシェントハラスメントに対する対策～ペイシェントハラスメント 患者・家族との向き合い方～」

福岡博孝(弁護士法人ふくざき法律事務所代表弁護士)

(2)「ペイシェントハラスメントと応召義務～正当事由はどこまで認められるか～」

大磯 義一郎(浜松医科大学医学部医療法学教授)

(3)「患者相談の現状」

栗原 慎太郎(長崎大学病院安全管理部長)

(4)「ペイシェントハラスメント対応ー医療対話推進者の立場からー」

奥津啓子(武蔵野赤十字病院医療安全推進センター患者相談室看護師長)

6月22日(土) 8:00~10:00 F会場

11. 医療事故の少ない職場環境づくり～心理的安全性の観点から～

座長：中根 博(国立病院機構福岡東医療センター院長)

相馬孝博(千葉大学医学部附属病院医療安全管理部特任教授)

(1)「インシデント報告を通じた心理的安全性の醸成」
中島 勸(虎ノ門病院医療安全部部长/病院長補佐)

(2)「心理的安全性を支援するヒント」

高橋静子(医療法人鉄蕉会亀田総合病院医療安全管理室セーフティマネージャー)